

令和 7 年度石油産業体制等調査研究等事業
(平常時及び緊急時における石油需給動向等調査等事業 (石油情報システム運用保守等業務))

	頁番号	行番号	項目	種類	意 見	理 由	回 答
1	別添2 1頁	【情報セキュリティ関連 規程等の遵守】	3)	3	ペネトレーションテストにおける指摘事項への対応について、前提とする作業ボリュームの上限等、対応条件を補記いただきたい。	ペネトレーションテストにおける指摘事項内容・件数を事前に想定することが困難であり、対応工数の見積妥当性が測れないため。	ペネトレーションテスト等における御意見につきましては、現時点では侵入経路等の細かい要件は御提示ができません。つきましては、応札者において、適切と考える工数を積算ください。
2	仕様書 8	1 運用管理	ク	1	「契約締結時及び年度初めに提出することに加え、コスト妥当性確認の証跡も添えて提出し、プロジェクトの責任者が主管課へ直接説明を行い、主管課の承認を得ること。」とありますが、コスト妥当性確認の証跡として、どのようなものを想定しているのか、例示する等の補記をいただきたい。	本仕様書からでは、作業量がどれくらいになるか定量的な作業量を図る指標が記載されていない為、各事業者の他案件等の実績等から積算する事になると思料します が、コスト妥当性確認の証跡となるのか不明なため。	見積書に係る根拠資料の提出とその説明を求めることを想定しています。
3	-	-	-	4	本調達4年間と契約期間が長期に渡るため、物価上昇等に備え契約金額の見直しに関する協議の場を設けることを仕様書に加筆いただくことを検討いただきたい。	昨今の情勢から物品費・人件費の高騰が予想されるため、契約当初から仕入れ価格が変動することが考えられる。 契約見直しに関する協議の場が安全な業務遂行のため必要と考える。	本件は4年間の契約期間を前提としており、その入札金額は総価で行う予定です。それを踏まえて、応札者において必要な金額の積算をご検討ください。
4	仕様書 20	9 その他特記事項	2)イ	3	情報資産管理シートの詳細を具体的に補記をいただきたい。	情報資産管理シートの内容や記載様式が調達仕様書案からでは読み取りができない。 ※デジタル庁にある標準ガイドラインのページに掲載がないように思えるので、作業に係るボリュームが推し量れない。	「情報資産管理標準シート」は、デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン（以下「デジタル庁 標準ガイドライン」という。）において調達仕様書に盛り込むべきものとされており、以下のデジタル庁 標準ガイドラインの「別紙3 調達仕様書に盛り込むべき情報資産管理標準シートの提出等に関する作業内容」を御確認ください。 https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_resource/e2a06143-ed29-4f1d-9c31-0f06fca67afc/1fc6722a/20240605_resources_standard_guidelines_guideline_01.pdf
5	-	-	-	4	本調達内容に関わる質問期間の設置を検討いただきたい。	質問応答を設けることで要求仕様と提案のミスマッチや新規ベンダーの参画機会創出が見込めるため。	入札公告・入札説明会にてご確認ください。

(注1) 種類欄には、次から選択した番号を記載のこと。
(1. 要求水準を下げよ 2. 要求水準を上げよ 3. 修正せよ 4. その他)

(注2) 意見及び理由は、130文字以内で明確かつ簡潔に記載すること。ただし、その字数内では不足する部分は、別添資料に記載すること。

(注3) 本様式の変更はしないこと。